

半切四分の一に書くⅡ (20)

締切り 八月二十五日 (必着)



神谷 葵水 先生 書

◎本誌に条幅(半切)の課題が正式に設置されたのは、平成十一年七月のこと、その前の約八年間は、半切への足がかりとして半切四分の一のサイズ(約六八cm×十七、五cm)で条幅の基礎を学んでまいりました。

◎このコーナーでは、元愛知教育大学名誉教授・神谷葵水先生の当時のお手本をもとに、改めて条幅の基礎を学びます。平成二十六年にも一年間学びましたので、今回はパートⅡになります。

ります。

◎条幅は苦手という方、大きい作品に気後れしている方は、この機会にぜひ、条幅の草稿作りのつもりで気軽に取り組んでみましょう。

〔読み〕 無事^{ぶし}是^{これ}貴人^{きにん} (臨済録)

〔大意〕 作為をせず、あるがままでも人はすべてのものが備わっているので、何もなくてもよい、の意。

〔解説〕

・用紙に五文字をバランスよく収めることが大切です。行の中心、字間、天地のあき等に注意しましょう。紙を折る、下敷の罫を利用する等の方法もあります。

・お手本をよくみると、各字に大小の違いがあることがわかります。潤渇も考えてみましょう。その方が動きやリズムが出て表現が豊かになります。

・できる方は、書体や崩し方を変換してオリジナルな作品に挑戦して下さい。その際、字典でしっかり調べるのが肝要です。

・落款^{らくかん}(署名・印)も作品の一部です。丁寧に収めましょう。印のない方は□を赤ペン又は朱墨で書いて下さい。

〔作品の出し方〕

▼毛筆部Ⅱ条幅半切四分の一(約六八cm×十七、五cm)に書いて下さい。

▼硬筆部ⅡB5版(二五七mm×一八二mm)以下の紙に課題手本のような枠線を引いて下さい。用具は自由ですが、細い線は相応しくありません。(フエルトペン・筆ペン可)

▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。

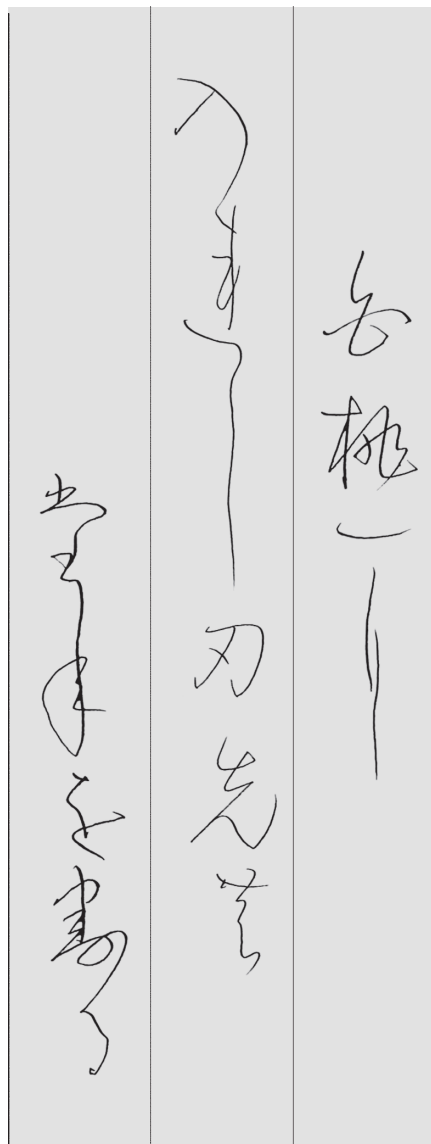
▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・毛筆漢字の成績(硬筆の場合は硬筆規定の成績)を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

準初段から六段まで

新入から1級まで

白桃^{耳連}に入れし刃先の種^{農堂年}を割る



た なか き こう 書
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

白桃^耳に入れし刃先の種^{能多ね}を割る



た なか き こう 書
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

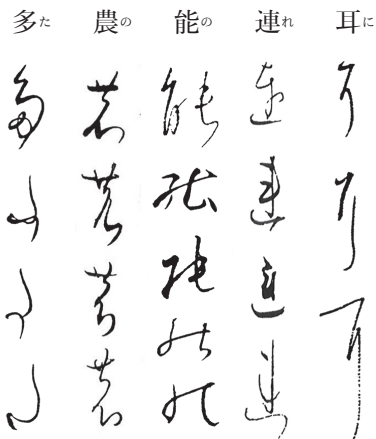
■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

白桃^{はくたう}に入れし刃先の種^{はしもとたかこ}を割る
(橋本多佳子)

〔句解〕白桃を半分に分けて割るうとして、やわらかい果肉に刃を入れたが、勢い余って種まで割ってしまったことだ。

〔鑑賞〕古来「桃の実」は秋とされてきました。栽培される白桃は晩夏のものとする。昭和二十五年作。金属の堅く鋭い刃を当て、ためらった末にナイフに力をこめると、意外に果肉の厚みを通り越し、堅いと思った種まで割ってしまった。この句の焦点は鋭い危機感により、とらえられた白桃の質感の確かさにあり、自虐的ナルシズムも混じる。

〔古筆参考〕



〔解説〕「白」の右側縦線の最後は少し中心に向かい、点を掛け易くする。

◆9月課題予告

雨粒^{あまつぶ}のときどき太き野菊^{なかく}かな

(中村汀女^{なかつむら})

締切り 8 月 25 日(必着)

夕立が我が町を駆け抜けていくと、
庭木のくもの葉には水滴が付いて
宝石のように輝きを放ち、束の間の
清涼感を味わいました。でもまだ
残暑はしばらく続くようですね。
ご自愛の程お祈り申し上げます。

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

※手本は水性ボールペン使用

夕立が我が町を駆け抜けていくと、
庭木のくもの葉には水滴が付いて
宝石のように輝きを放ち、束の間の
清涼感を味わいました。でもまだ
残暑はしばらく続くようですね。
ご自愛の程お祈り申し上げます。

横 書 き 課 題

阿波踊りは、徳島城を築いたとき
町民が祝い踊り歩いたのが初めて。
山梨県甲斐市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 8月25日(必着)

言
慙
博
達
至
於

言慙博達至於

言慙博達至於

準初段から師範まで

奥村暢之臨

〔出典〕集字聖教序（672）〔筆者〕王羲之法書より集字

〔読み〕言は博達を慙ず。（内典に）至りては、

白露月下に円し

〔読み〕白露月下に円し

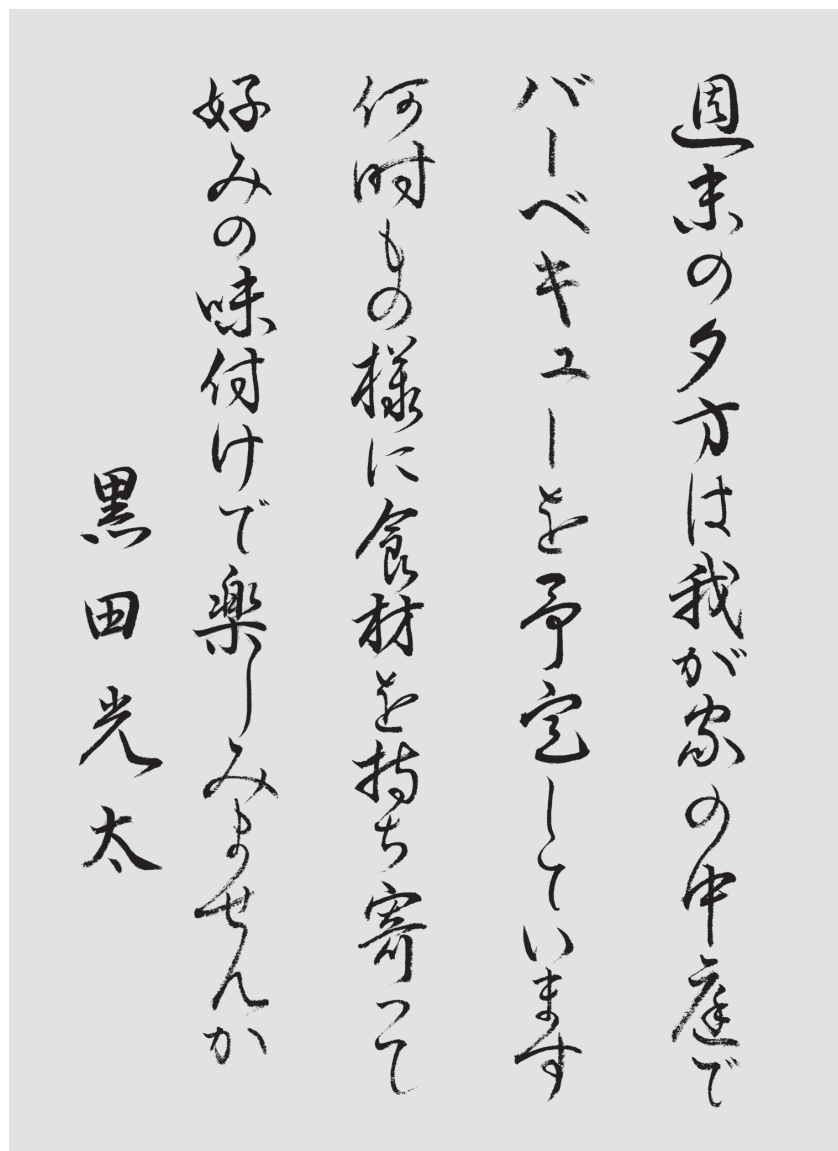
〔大意〕白露が月明りのもとでまろく光っている。

新入から1級まで（行書）

須田一葉書

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334mm × 240mm)

伊藤梅香書

締切り 八月二十五日 (必着)

半切 (一三六cm × 三五cm)

荻田蒼仙書

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績 (天位〜5等) は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

・印で墨つぎしました。

() 自分の氏名

週末の夕方は我が家の中庭で
バーベキューを予定しています
何時もの様に食材を持ち寄りそ
好みの味付けで楽しみませんか

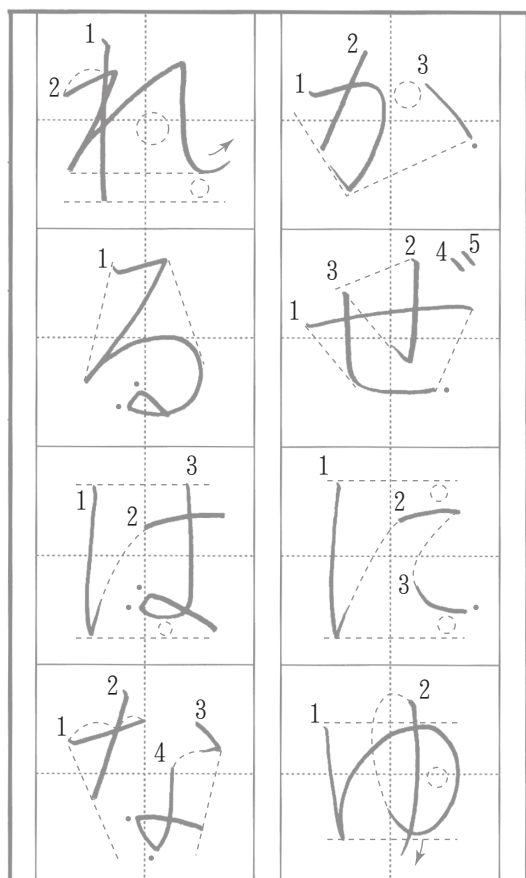
書道は人の心を動かす作品……綺麗だけでは駄目。そこに技術と心を高めねばならぬ所以があります。動きを封じ込められた昨今……充電のチャンスかと思ひ、過ごしました。されど未だ麓に立つ私は目前に聳える山を茫然と眺めています。

〔条幅解説〕

〔大意〕池一面に映ずる朝霞は清くも閑かである。
初出品の方へ
支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

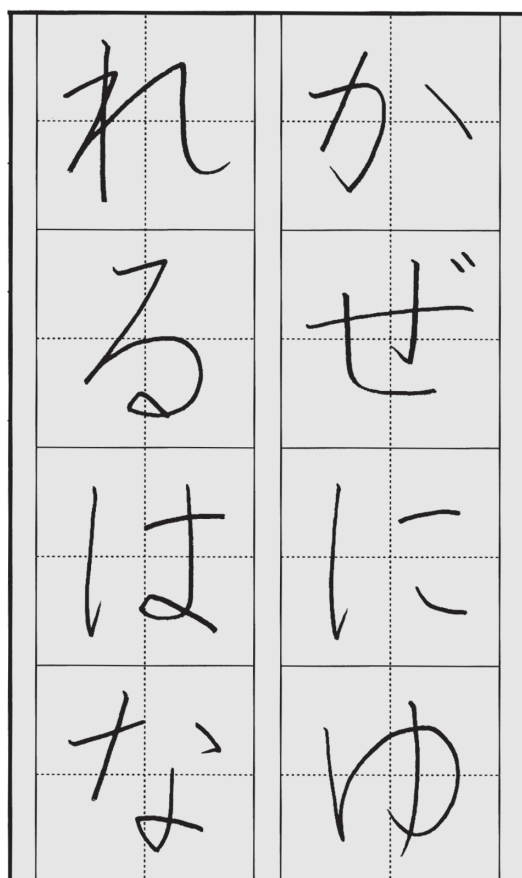
一池雲錦清閑
王梅溪

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)



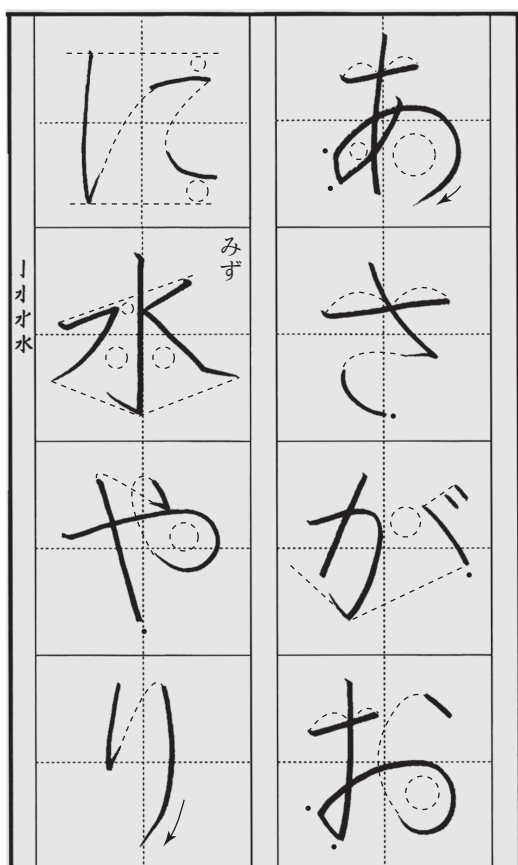
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



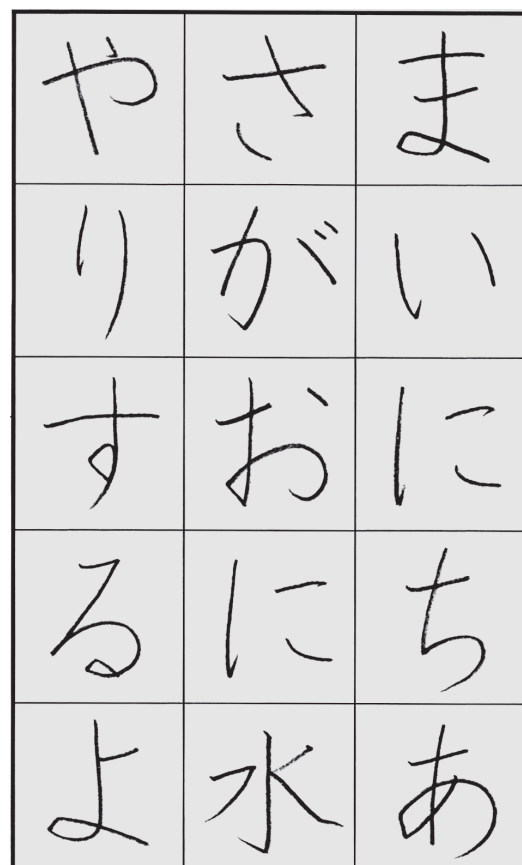
よ
う
年

幼年〜小三年まで
三宅容玉書



新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

か	み
り	か
た	まえ
本	に

一三三
一四四日
一五五前前前
一六六本本本

新入1級

か	り	三
え	た	日
し	絵	前
ま	本	に
す	を	か

準初段以上

小二年

準初段以上

か	部
り	屋
つ	の
け	明

一七七音音音部
一八八屋屋屋屋屋
一九九明明明明

新入1級

※部屋(注)えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。
※部屋(注)単語としてこのように読みます。

か	で	夜
り	部	は
つ	屋	暗
け	の	い
る	明	の

準初段以上

小三年

準初段以上

〈用具〉自由(黒色に限る)

イ チ	ノ 入	ニ ユ ウ
億	場	
人	者	
を	が	

新入〜1級

人	場	博
を	者	物
こ	が	館
え	一	の
た	億	入

小四年
準初段以上

小四年以上
岡嶋桂川書

シ	ホ ッ
自	北
ゼ ン	カ イ
然	海
ゼ ツ	ド ウ
絶	道
ケ イ	ダイ
景	大

解説(よく見て習いましょう)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

た	自	北
絶	然	海
景	う	道
写	つ	の
真	し	大

小五年
(全員)

〈用具〉自由(黒色に限る)

糸	紙
電	底
話	穴
作	開

解説(よく見て習いましょう)

糸	底	紙
電	に	コ
話	穴	ツ
作	開	プ
る	け	の

小六年 (全員)

水	で	運
分	定	動
撮	期	の
取	的	途
を	に	中

中二・三年 (行書)

長	舞	架
編	台	空
の	に	都
小	し	市
説	た	を

中一年 (行書)

▼小三年以下の課題

おお さわ ほう せん 書
大 澤 芳 仙

記 き	花 はな	ひ	育 そだ	ク
ろ	の	ま	て	ラ
く	高 たか	わ	て	ス
す	さ	り	い	で
る	を	の	る	



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 8月25日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題

き じま せい げつ 書
木 島 静 月

参 さん	多 おほ	子 こ	盆 ぼん	毎 まい
加 か	く	供 ども	踊 おど	年 とし
し	の	か	り	恒 こう
ま	人 ひと	ら	大 たい	例 れい
す	た	大 おとな	会 かい	の
	ち	人	は	
	が	ま		
		で		



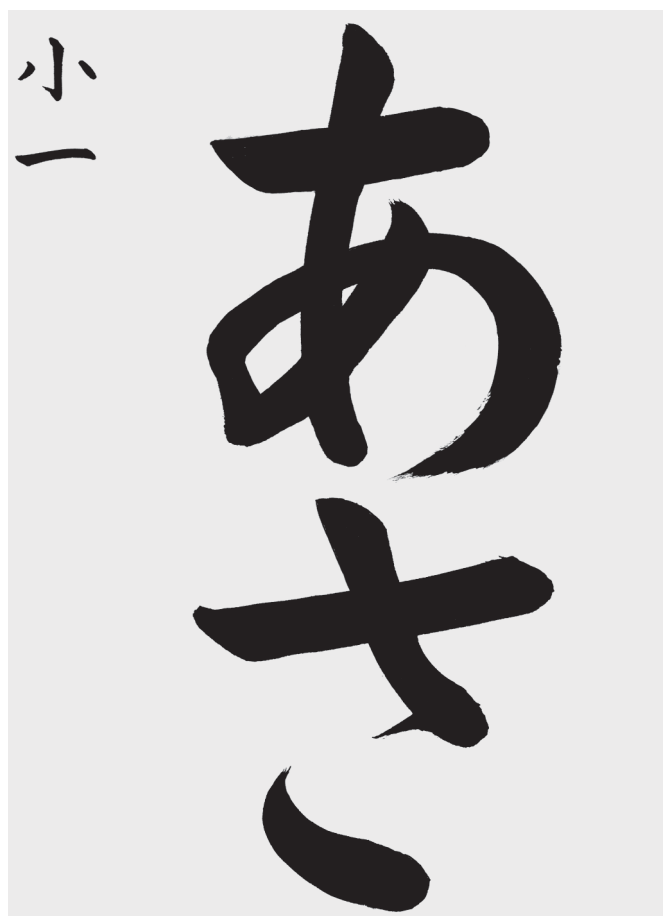
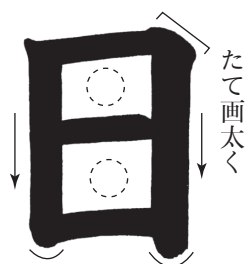
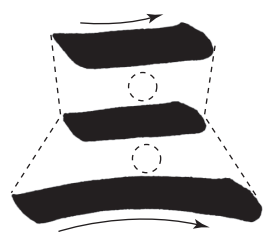
※大人＝単語としてこのように読みます。

◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。





然大
小五
自

り明
小三
か

者
中心
自
然
明
か
場

者入
小四
場

小三〜小五年
水野碧友書

中二
水分
取

糸
電話
小六

小六
中二・三年
玉樹小
華書

1:2
編

撰

取

電

話

長

中一
小長
説編

※行書はリズムよく筆を運ぶことが大切です。

ごんべん右上がりに

右上がりに